

どっちも負けるな!



大村地区綱引き大会

10月号

- 祁答院町の世帯数 1,747世帯
- 大村の世帯数 352世帯
- 祁答院町の人口 男1,645人 女1,970人 合計3,615人
- 大村の人口 男358人 女417人 合計775人
- 協議会加入世帯数 283世帯

月刊
おおむら

29年4月 現在

大村地区コミュニティ協議会
〒895-1501
薩摩川内市祁答院町下手2396-1
TEL/FAX 0996(55)1261



仲秋から3日後の10月7日・土曜日。大村地区では、恒例の綱引き大会を開催しました。日中の暑さもすっかり影を潜め、涼風が吹き渡る午後7時に進行役の久保正敏さんの号令で上・下に別れた子どもたちの一戦で熱戦?の火蓋が切られ、その後次々と組み合わせを替えて老若男女、秋の一夜を満喫しました。それに先立ち、これも恒例になっている全長約36mの綱打ちを

「よみきかせ」の夕べ

「十五夜綱引き大会」で汗をかいた後、「よみきかせ」を永福寺の本堂で開催しました。

午後7時40分、保護者に付き添われた子どもたち50人ほどが集ったお寺のそれはそれはにぎやかな事。今年の演し物は樺山美智子さんの「ひこいちとんちばなし」一てんぐのかくれみの一とDVD「稲むらの火」の上映。

「ひこいちばなし」はとても短い話ですが、子どもたちは熱心に聞き入っていました。「稲むらの火」は幼児には少し難しかったのかもしれませんが。

来年以降の課題にしたいと思います。

文化教養部会

部会長 海野 光夫



行い、恵比寿神社に奉納し柏手に無病息災豊年満作を込めました。当夜は、祁答院・藺牟田出身の歌手の榎木美優サンがサプライズ訪問し、「田子の浦部屋」の千秋楽祝賀会でも披露したという相撲甚句、十五夜に相応しく「うさぎ」、その後の観月会では持ち歌の「桜島」をアカペラで熱唱。コップ片手の酔眼の面々もプロ歌手の歌声に聞き惚れていました。



10月12日(木)、南方神社で恒例の秋季大祭が開催され、今年も、城北地区に伝承されている「鷹踊り」が神前に奉納されました。黒紋付羽織、脇差、白足袋、陣笠、サントク笠(鳥追笠)を身につけ、右手に鷹、



南方神社秋季大祭

左手に扇子を持った踊り手6名が優雅に踊りだすと、めつたに見られない踊りを写真に収めようと遠来からのアマチュアカメラマンがしきりにシャッターを切っていました。



11月の行事予定

- 3日(金) 地域一周駅伝練習開始
- 6日(月) 男の料理教室
- 12日(日) 久富木川河川敷除草作業
- 13日(月) 11月期地区コミ役員会
- 19日(日) 駅伝大会試走
- 26日(日) 駅伝大会試走

*12/2(土)の駅伝大会に向けて、3日よりほぼ毎日、中学校グラウンドで練習を行います。